

# 災害伝承の取組事例(R元年度) 広島市立戸山中学校

## 概要

### (1) 実施日

令和元年5月9日(木) 「戸山探検」(砂防出前講座)

### (2) 対象者

広島市立戸山中学校(1年生 17名)

### (3) 内容

- ・土砂災害についての授業
- ・昭和26年ルース台風など過去の災害について
- ・平成11年6.29豪雨災害(戸山地区)の被害
- ・砂防ダム等の防災施設の見学
- ・雨量観測局の見学

戸山探検(遠足を活用した防災教育)  
過去の被災状況を子供達に伝える  
砂防ダム等の現地見学, 雨量観測局の確認

地域全体  
での伝承  
の取組

戸山体験で学んだことの成果を  
文化祭(10月)で発表  
(地域住民参加)

## 「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている地域の災害記録



平成11年6月29日豪雨災害の記録

昭和26年ルース台風の記録

### 地域のがけ崩れ対策を見学



### 地域の砂防ダムを見学



### 雨量観測局の役割の説明



## 【文化祭での学習成果の発表】～地域ぐるみでの災害伝承



- ・R元. 10. 19(土)  
戸山小学校・戸山中学校合同文化祭「とやまっ子文化祭」
- ・中学1年生が戸山探検で撮影してきた写真などを映しながら、地域の防災について学習したことや感じたことを保護者、地域の方々の前で発表

## 生徒の感想

- 自分が住んでいる身近な地域で過去にこんな大きな災害があったことを初めて知った。
- 砂防ダムの役割を学んで、自分たちが住んでいる地域が守られているんだと実感した。
- 雨が降ったら、情報を集めて、いつでも避難できるよう、日頃からの災害への備えが大切だと思った。
- 災害のことを家族でも話し、調べてみようと思った。